

にだって受かるという保障はない。けれども、今現在の僕の夢は大学に受かること。しかも一流といわれる大学に受かることです。大学に受かることが夢だとすると、本当に壮大な夢を持って生きている人々に笑われるかもしれないけれど、どんな小さく、みずほらしい夢でも、その人にとっての夢なら、立派な夢であると思います。例えば、好きなあの娘に話しかけたかと思うことも夢のひとつであると思います。そして、夢は今ではかなっていないから夢、かなえたいと思うことが夢、しかし、未来、将来において努力によってはかなえられるから夢であると思います。また、夢を持ち、夢を実現するための努力という名の能力を持っているから、人間なのであると僕は思います。僕は来春、大学に無事合格して大学生になったときも、会社に就職したときも、何か夢をもって生きて行く人間になりたいと思います。そして、その夢を実現するための努力のできる人間になりたいと思っています。それは、最後に、夢を実現していない僕ですが、■に贈る言葉であり、夢を実現するための努力の行える人間になりたいと思っている自分自身に贈る言葉を綴ります。

「夢を持ち、夢を夢でなく現実のものにするための努力をしよう！」

「努力こそが、夢を実現するための唯一の方法なのである。」

④ そして最後に、友情の飛躍

今、現在、僕にとって■は親友であり、僕と■は良い友情で結ばれていると僕は思っていて、そして■も、そう思っているものと思う。また僕は、この友情関係を維持し、さらに飛躍させていきたいと思っています。だから高2の時の伊豆旅行のような大きな“PROJECT”を、これから、できれば、一年に一回は推進して行こう！ 来年の3月には僕も無事、大学に合格していると思うから、

「その時は、もう一度、手を組んで、派手にやるよ」